

2022/1/22 地元Love：近くて早くて美しい、コスパ☆☆☆の山旅

CL藤木た、AL藤木晴、ASL西田、山岸、佐藤、水江、太田、BL小山内、SL森永、西田昌、津川、伊藤、小笠原、及川、川村、鈴木
 往復3.0Km、所要3時間3分、登り85分、標高差203m、下り63分(滑走28分昼食35分)
 8:45カルルス温泉バス停集合、晴れ微風、気温終日マイナス、-3~8℃前後

今シーズンは雪が良く毎週末の山行は「当たり」の連続。この日はリーダーお勧め地元の穴場スポット探訪しました。
 オロフレ登別山(1003m)って、どこにあるの？オロフレトンネルの直上、登山口からみて最初のピークです。
 {羅漢岩の向う、西の河原に行く途中の石碑のある岩ポコ(もう一つの登別山?)ではありません}
 峠のトンネルを出てすぐ右の駐車場をスタート、道路を横切りトンネル管理?の小屋から斜面にとりつきます。



体操係M氏の腰回しに注目



観光道路へ向かう斜面、樹氷の



35分歩いて観光道路に出る



観光道路を30分歩いて登山口へ賑やかに進むスノーシュー班

駐車場近く雪庇できてました。オロフレの白い三角錐が見え隠れ、麓は見事な樹氷



オロフレ山をバックに全員でパチリ、皆大満足いい顔



うしろのピークが登別山



カルルス山・壮警方面



洞爺湖・有珠山方面



羅漢岩と登別山(石碑)

山頂までの登りはちょっときつく本日の核心部。
 スキー班はジグを切りながら、スノーシューは余裕の直登で。駐車場から20分で山頂とうちゃこ。
 360度の大展望に歓声が挙がる。
 山頂にて元会員伊達のY氏との思いがけない再会。
 変わらぬ笑顔良く日焼けしている。互いの健勝を称えランチの後の滑走は雪よし、いつまでも滑っていたい。あっという間に終了。お疲れ様でした。



輝く太平洋と来馬岳を眺めてのランチ



スキー軌跡

夏おなじみのオロフレ山。何度も登って知り尽くしたと思いきや、こんないいピークがあったのです。まさに「大当たり」
 また一つ、新たな魅力を発見した地元Love山行でした。リーダーサブリーダーに感謝します。 太田記